

別紙様式 2

授業科目名	公共経済学	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	専門教育科目	開講時期	後期（9月5日～1月27日）
学部・学科等	シティウ学部シティウ学科	曜日	水曜日
必修・選択区分	選択必修科目	時限（時間）	3限（13:00～14:30）
標準対象年次	3学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮シティキャンパス
担当教員名	漆戸 宏宣		
電話番号（代表者名）	028-650-6611 （学務課 浮須 [ウキス]）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業概要> 近年の公共経済学や財政学の学部生向けの教科書では、旧来から経済学や財政学で扱われてきた理論や仮説などに加え、公共選択論（中心人物の一人：J・M・ブキャナン教授・ノーベル経済学賞受賞）のように、予算の決定の背後にある政治過程に関して経済学の観点から研究、分析した成果（政治の経済分析）を扱うことが通例である。この授業では、旧来からの経済学や財政学、ならびに、政治の経済分析の各種理論や仮説などのうち、特に基礎的な部分について、説明していくこととする。</p> <p><到達目標> 旧来からの経済学や財政学、ならびに、政治の経済分析の各種理論や仮説、現実の政策、制度、仕組みを理解することができる。 このような現実の政策、制度、仕組みの問題点を見出し、その解決に関して自分なりの見解を持つことができる。</p> <p><授業計画> 第1週 経済とは何か、公共経済とは何か 第2週 資源の希少性、資源の最適配分 第3週 市場、完全競争市場 第4週 需要と供給 第5週 市場の失敗 第6週 公共財 第7週 外部性 第8週 独占・寡占 第9週 財政の三機能と政府の経済活動 第10週 政府の失敗、選択のルール（選挙・投票行動） 第11週 コンドルセ投票と投票のパラドックス 第12週 単峰性の仮定と中位投票者理論、アローの不可能性定理 第13週 税制1（直接税と間接税） 第14週 税制2（所得税と消費税） 第15週 まとめ（今後の経済・財政・政治への展望）</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書 特に指定しない。授業用に私自身が作成したレジュメを用いる。 参考書等 井堀利宏『基礎コース公共経済学（第2版）』新世社、2015年 根岸毅宏・中泉真樹編著『アクティブ・ラーニングで学ぶ日本の経済』東洋経済新報社、2021年</p> <p><成績評価法> 定期試験（70%）、課題レポート（15%）、授業への取り組み（15%）（授業内小レポート、小テスト、授業内における積極的な発言等）</p>		

